

平成26年度旭川市江丹別若者の郷活性化協議会での主な協議事項

(平成26年度第2回協議会／H26.10.10開催)

1. 江丹別若者の郷の活性化策について

(1) 地域資源を活かした体験メニューについて

- ・星が奇麗
- ・虫捕り（蝶々・バッタは採れる。カブトムシ・クワガタは難しい）
- ・魚釣り（稚魚の放流）
- ・とみはら自然の森の「クラフト作り体験」を若者の郷でも実施する。
- ・森林浴ヘルスツアーの拠点とする。（ストレス診断や血圧測定も導入）
- ・冬のスノーモービル等の発着場・拠点施設とする。（市営牧場、周辺農地も活用）
- ・冬のかんじきウオーク（江丹別峠は隠れたスポット）
- ・夏のバギーやオフロードバイクのコース設定
- ・フットパスコースの設定（江丹別の散策・牧場周辺・直売所など）、セグウェイ
- ・カエデの樹液採取
- ・カエデオーナー制度
- ・キノコ・山菜の採取（栽培用のほだ木の増設・植林なども検討）
- ・カエデ・キノコ・山菜などのマップ（年間通してこの時期には〇〇が採れるというのが分かる散策マップ）
- ・伊勢ファーム前の建物（土の家）の活用
- ・残雪の活用（6月まで排雪場に残っている）
- ・江丹別ダムの活用（水上バイク・ジェットスキー）

<その他意見>

- ・江丹別でなければ叶わないメニュー作りになることがカギ。
- ・他の地域とも連携すべき。（実績：チーズとワインのコラボ）

(2) 地域資源を活かしたレシピ開発について

- ・ウチダザリガニの活用（保留）
- ・そば焼酎
- ・そば味噌
- ・ホエーの活用

<その他>

- ・そば打ち体験を、直売所等と連携し総合的に人を集める手段として有効活用すべき。
- ・麴発酵機を有効活用し、農産加工施設の冬期稼働率を向上させる取組を進めるべき。

- ・若者の郷に、地場産品等を紹介するアンテナショップ機能を付与する。
- ・若者の郷の利用者へ情報提供（直売所等）を提供し、地域に繋いでゆく取組を強化すべき。

（３）合宿等の誘致について

（４）施設紹介（PR）方法について

- ・テニスコート3面を補修し高校・大学・企業等の合宿誘致に乗り出すべき。
- ・若者の郷ホームページをリニューアルすべき。
- ・若者の郷独自の宣伝媒体（パンフレット等）を作成すべき。
- ・広報誌による宣伝も引き続き行うべき。

2. その他

<イチイ並木>

- ・活性化の一翼を担う場所と位置づける。フットパスコース等への活用も見据える。
- ・枯れた部分は伐採せざるを得ないと思われる。
- ・最終報告書を確認後、新植する樹種や活用方法を検討する。
- ・山側のスペースは有効活用すべき。

<その他>

- ・委員による先進事例の視察

（平成26年度第3回協議会／H27.2.9開催）

1. 江丹別若者の郷の活性化策について

- ・パークゴルフ場の活用
- ・合宿等の誘致活動についてはテニスコート全面修繕完了を待たず積極的に進めるべき
- ・アマチュアバンドやアーティスト等を集めたイベントを開催してはどうか。
- ・イベントよりも自然の豊かさなど江丹別の良さを生かした取組を進めてはどうか。
- ・美幌町のメープルシロップの製造や、陸別町や歌登町の冬の体験ツアーのなどの取組みを調査してはどうか。ノウハウや観光客の反応など参考になると思われる。
- ・豊かな森林を活用した取組みとして、津別町で先進的な取組（森林セラピー基地：らんぷの宿）を進めている。参考にしてはどうか。

<その他>

- ・本協議会ではある程度の方向性を示すことはできるが、やはり地域の内発的な動きが大切である。

- ・ 地域住民の主体的な取組を外部人材がサポートするという形にしなければ、取組みは続いて行かないだろう。
- ・ また、地域住民が事業を担っていくためには、合意形成や受け皿づくりが大切。
- ・ 将来的に、総務省の地域おこし協力隊などの活用も検討すべき
- ・ まちづくり協議会や江丹別の地元の取組みと連携すべき。

旭川市江丹別若者の郷活性化策 他都市の取組事例など

I. 江丹別若者の郷の活性化策について

1. 地域資源を活かしたレシピ開発について

(1) そば味噌

そば味噌の作り方や、そば味噌を使ったレシピ自体は、インターネットで多数検索することができる。このため、味はもちろんであるが、それだけではなく江丹別ならではの要素を加えて差別化を図る必要がある。

例：そば味噌：麴から作る、江丹別の地元のソバを使用する など

レシピ：エタンベツロブスターのピリ辛そば味噌風味 など

(2) 副産物ホエーの活用

ホエーを活用したレシピ自体は、インターネットで多数検索できる。(ホエーでバナナパンケーキ、ホエーで豆乳ラッシー、スムージーにホエーも混ぜる など)

このため、江丹別ならではのレシピを提案する必要がある。(地場産品試作センターを活用し、ホエーをソーセージの素材に練り込む等)

2. 地域資源を活かした体験メニューについて

(1) 星が奇麗

【事例1】自治体の実施主体～親子天文博士（旭川市科学館・サイバル）

- ・天体望遠鏡の使い方と観測方法を親子で学ぶ。(H26実績：6月と9月に各1回実施)
- ・天文台を有する自治体の実施主体の例：毎月実施(愛知県尾張旭市など)、夏休み期間(滋賀県長浜市など)、冬休み期間(神奈川県藤沢市など)

【事例2】大学等研究機関の実施主体～親子天文教室（岐阜大学公開講座）

- ・参加者が自分で作った天体望遠鏡で天体観測を行う。天体に関する講義を受講した後、大学設置の望遠鏡も活用し惑星等の観察を行う。

【事例3】NPO等の実施主体～秋の里山天体観測会

- ・小中学生とその保護者を対象に、天体観測、木のボールペン作り、ピザ作りを行い秋の里山を満喫する。H26.9.27 参加料：小中学生 1,500円、大人 2,000円 (NPO法人メセナ SUN-CLUB 学びの森/東広島市 ホームページより)

(2) 虫捕り

全国的に官民とも多数の実施事例あり。

【事例1】親子昆虫採集（北見緑のセンター）

- ・夏休み中に実施。同センターの恒例行事。北網北見文化センターの学芸

員がガイド役を務める。同施設周辺の緑地で実施。無料。

【事例 2】昆虫採集（わくわくアドベンチャークラブ・民間団体）

- ・ 6 月下旬～8 月末迄。ミヤマクワガタ採取など。体験所要時間 2 時間 30 分。体験料金：中学生以上 4,320 円，3 歳～小学生 3,240 円。

（わくわくアドベンチャークラブ／富良野市 ホームページより）

【事例 3】昆虫採集キャンプ（カブクワ会津高原・民間企業）

- ・ 昆虫採集や自然体験をセットにした宿泊ツアー。日帰りなどメニュー多数あり。（1泊2日コース：大人 16,800 円，子ども 4～12 歳 14,800 円，子ども 3 歳以下 4,600 円，1 歳以下 1,000 円）／平成 26 年度は昆虫採集キャンプを休止。

（カブクワ会津高原／南会津町 ホームページより）

（3）カエデ樹液採取

【事例 1】メープルシロップ販売（美幌町）

- ・ 町内在住者で組織する美幌町樹液研究会が実施主体。毎年春先に限定商品を美幌観光物産協会で販売。ネット販売有り。（H26 年度／800 本販売）
- ・ オホーツクメープルシロップ（イタヤカエデ）120ml／1,250 円
- ・ びほろメープルシロップ（カラコギカエデ）120ml／1,250 円

【事例 2】カエデ eco ツアー，新商品開発・販売（NPO 秩父百年の森）

- ・ NPO 法人の森林を守り育むための取組（森林整備活動，交流活動，環境教育支援活動，地域活性化事業）の一環として実施。
- ・ カエデ eco ツアー：散策，カエデ樹液料理を楽しむ など
- ・ カエデ樹液プロジェクト：樹液採取，カエデ樹液の活用（飲料やお菓子など様々な商品開発・販売（サイダー，ゼリー，シロップ等）），地場のレストランで樹液を活かした料理を提供，樹液をミツバチに与えることによる新たなミツの開発など。

（NPO 法人秩父百年の森／秩父市 ホームページより）

※なおカエデオーナー制度を実施している自治体等は存在しない。

（4）ウチダザリガニ

【事例 1】漁協による取組～商品化（阿寒湖漁業協同組合）

・ 鮮魚商品

ボイル・ウチダザリガニ（両ツメ）【天然】 （片ツメ）【天然】
1 kg 当たり（20～33 尾）1,700 円（税別） 1,600 円（税別）

レシピ

ザリガニカルパッチョ，レイク・ロブスターのライスコロッケ

・ 加工商品

レイクロブスタースープ缶 1缶 500円（税別）

ザリガニピースちっぷす（生産終了）

阿寒湖漁協と地元菓子メーカーが共同開発した商品 500円（税別）

（阿寒湖漁業協同組合／釧路市阿寒町 ホームページより）

【事例2】観光協会による取組～釣り大会（裏磐梯観光協会）

観光協会主催で毎年7・8・9月に釣り大会を開催。釣ったザリガニは食べて

しまう。盛況。 （裏磐梯観光協会／福島県北塩原村 ホームページより）

（5）フットパス

【フットパスとは】

イギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（こみち）【Path】”のことです。イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいます。近年日本においてもさまざまな地域において、各々の特徴を生かした魅力的なフットパスが整備されています。

（日本フットパス協会 ホームページより）

【道内の主なフットパスコース】

（道北）宗谷丘陵フットパス、サロベツフットパス、びえい白銀温泉遊歩道 など

（道央）深川フットパス、洞爺湖フットパス、ウヨロ川フットパス など

（道東）十勝川温泉フットパス、根室フットパス など

（道南）大沼公園散策路、奥尻島フットパス など

（6）冬のかんじきウォーク（スノートレッキング）

江丹別峠では、市内外の民間の山岳ガイド等がスノートレッキングツアー企画している。

【事例】札幌の山岳ガイドによる日帰りツアー

・ガイド料金 10,000円＋その他所費

札幌～高速利用～江丹別峠 登山口～登り約2h 全4～5h

～下山後 温泉入浴～帰札幌

（山岳ガイドオフィスTAKT／札幌市 ホームページより）

（7）スノーモービル等の発着場・拠点施設とする（市営牧場・周辺農地も活用）

～別紙のとおり